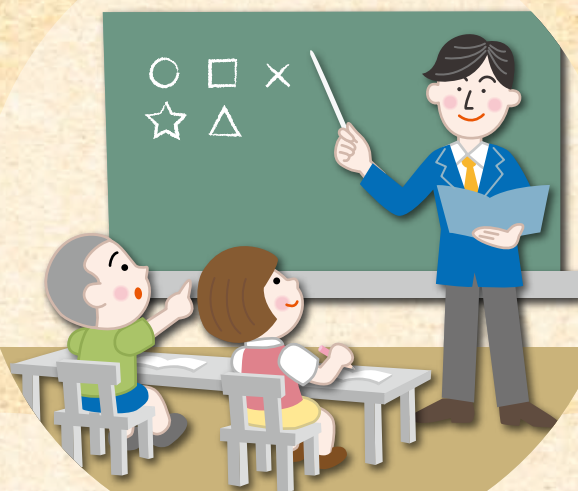


特別免許状等の 活用に関する事例集

～多様な教員が活躍する学校をめざして～



文部科学省

特別免許状とは

特別免許状とは、学校教育の多様化への対応や活性化を図ることを目的として、大学等の教職課程を履修していないが、担当する教科に関連する専門的な知識技能や経験を有している人を教員として学校に迎え入れるための「教諭」の免許状です。(昭和63年に創設)

特別免許状は、小学校、中学校、高等学校の全ての教科と、特別支援学校の全ての自立教科及び自立活動について授与することができます。特別免許状の授与に当たっては、都道府県教育委員会が行う教育職員検定に合格する必要があります。

特別免許状と普通免許状(大学等の教職課程を履修して授与される免許状)との比較

免許状の種類	有効期間	有効範囲	授与の方法	特徴
普通免許状	10年 (更新可能)	全国	大学等において教職課程を履修し、所要資格(学位等と必要単位数の修得)を得て、都道府県教育委員会に申請を行うことにより授与されます。	各学校種と職種の免許状があり、専修、一種、二種(高等学校は専修と一種のみ)の区分があります。 既に有している普通免許状の教員経験を元に、通常より少ない単位数により、上位区分、隣接学校種、同校種他教科の免許状の授与を受けることが可能です。※1
特別免許状	10年 (更新可能)	授与を受けた 都道府県	任命又は雇用をしようとする者(教育委員会や学校長等)の推薦に基づいて教育委員会が実施する教育職員検定に合格した者に対して授与されます。	幼稚園、養護教諭、栄養教諭、特別支援学校の特別支援教育領域の特別免許状はありません。 小学校であっても教科ごとに授与されます。(特別活動などの教科外活動を担任することも可能です。) 特別免許状の授与を受けた後に、3年以上の教員経験と必要な単位数を修得することにより、当該校種の普通免許状(専修又は一種)の授与を受けることが可能です。※2

※1 詳細は文部科学省ホームページをご参照ください。(http://www.mext.go.jp/a_menu/01_h.htm)

※2 特別支援学校の特別免許状を元にして特別支援学校の普通免許状の授与を受けることはできません。

特別免許状授与の指針

特別免許状の授与に係る教育職員検定の基準は、都道府県教育委員会ごとに定められていますが、全国的に制度の活用が進んでいるとはいえない状況を踏まえ、文部科学省において「特別免許状の授与に係る教育職員検定等に関する指針」を示しました。（平成26年）

主な基準

『教員としての資質の確認』

① 教科に関する専門的な知識経験または技能

→学校又は在外教育施設において教科に関する授業に携わった経験（概ね600時間以上）または、教科に関する専門分野に関する職務経験（概ね3年以上）のいずれかを有していることを確認します。

② 社会的信望、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見

→推薦状や志願理由書により確認します。

『学校教育の効果的実施の確認』

→任命者または雇用者による推薦状により、授与候補者を学校現場へ配置することにより、学校教育が効果的に実施されることを確認します。

『第三者の評価を通じた資質の確認』

→学識経験者や学校管理職との面接により、授与候補者の教員としての資質を確認します。

その他

特別免許状授与の仕組みづくりとして、域内の市区町村教育委員会や学校との連携、特別免許状申請に係る手続きの整備及び周知を行うことや、特別免許状所有者が学校現場にて円滑に勤務ができるよう、特別免許状所有者向けの研修の実施や、日本語が不十分な特別免許状所有者への支援体制の充実について示しています。

「特別免許状の授与に係る教育職員検定等に関する指針」の全文は、文部科学省ホームページに掲載しています。（PDF形式）

(http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/06/23/1348574_3.pdf)



平成26年に指針を定めた結果、平成27年度は特別免許状の授与件数が増加しました。
（平成26年度の授与件数92件、平成27年度の授与件数215件）

特別免許状の授与状況

特別免許状の授与件数(平成27年度までの累計)は、延べ915件となっております。

授与件数(平成27年度までの累計)の内訳

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
件数	3	116	661	135

※特別支援学校の項目は、平成18年度までは盲・聾・養護学校の特殊教科特別免許状の合計数を掲載しています。

授与件数の推移

年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数
平成元年度	14	平成8年度	1	平成15年度	47	平成22年度	45
平成2年度	2	平成9年度	5	平成16年度	49	平成23年度	39
平成3年度	2	平成10年度	1	平成17年度	35	平成24年度	52
平成4年度	3	平成11年度	0	平成18年度	37	平成25年度	59
平成5年度	2	平成12年度	1	平成19年度	69	平成26年度	92
平成6年度	12	平成13年度	4	平成20年度	56	平成27年度	215
平成7年度	0	平成14年度	6	平成21年度	67	—	—

平成27年度授与の内訳

学校種別

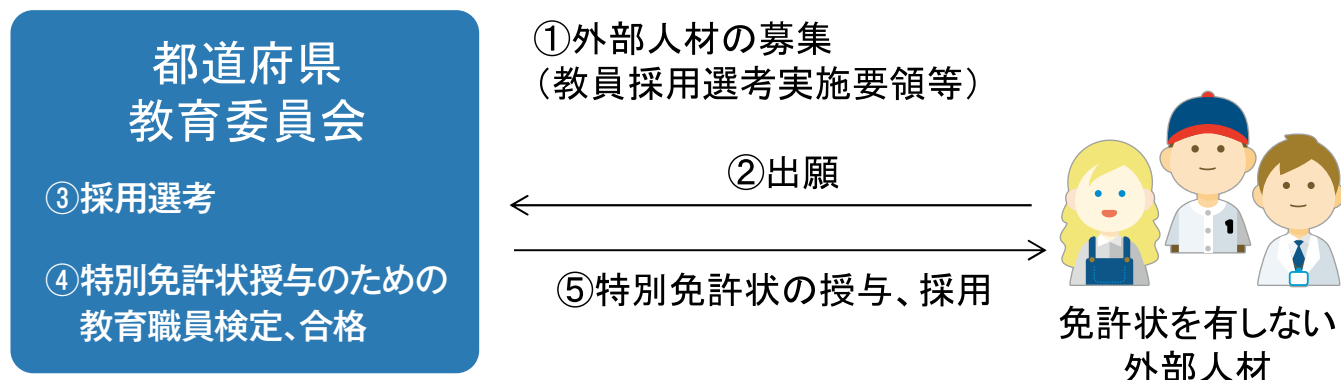
学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
件数	0	52	153	10

教科種別(主なもの)

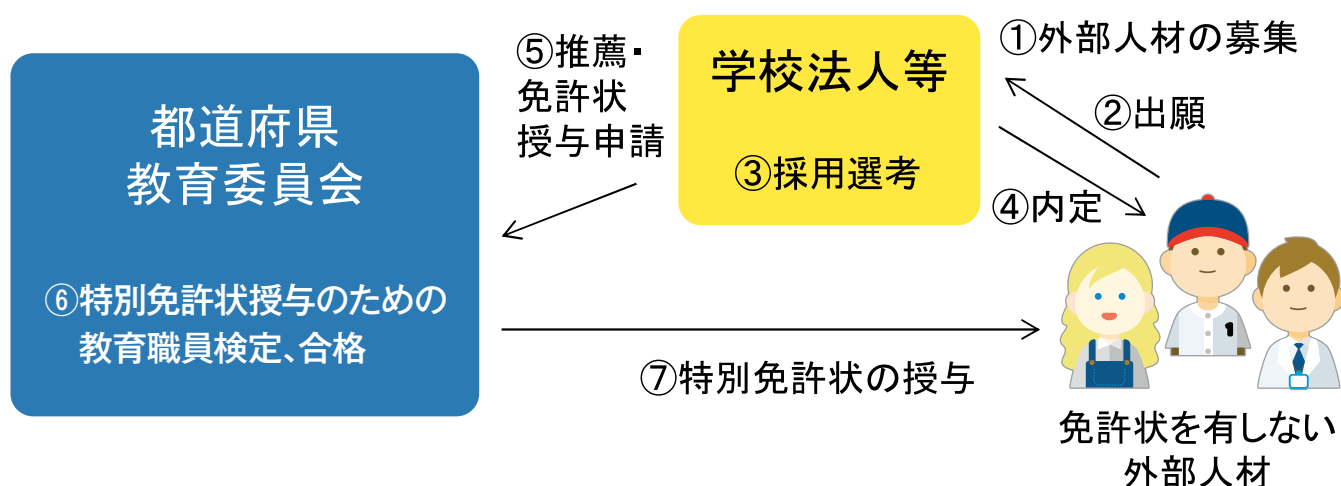
教科	件数	授与者の主な職歴
外国語	97	ALT、大学教員、英会話学校講師
看護	35	看護師
理科	12	大学教員、民間企業研究員
工業	11	製造業、一級建築士、建設業
数学	11	保険数理士
自立活動	10	作業療法士、病棟等での機能訓練等業務、看護師
公民	5	インターナショナルスクール講師
保健体育	4	国体入賞者(陸上競技、ハンドボール等)
水産	4	実習助手
社会	4	インターナショナルスクール講師
音楽	3	音楽隊指揮
家庭	3	調理師
情報	3	システムエンジニア
地理歴史	3	市民講座講師

：特別免許状授与までの流れ(例)：

(1) 免許状の授与権者(都道府県教育委員会)が採用者の場合



(2) 採用先の推薦を得て特別免許状が授与される場合



近年では、教員免許状を有していない者に対して、教員採用選考と特別免許状授与のための教育職員検定を並行して実施し、双方に合格した場合に特別免許状を授与して教員として採用する都道府県教育委員会も増加しています。(スペシャリスト採用等)

【採用後の研修について】

特別免許状を授与された人が勤務するにあたっては、学年主任や教科主任からの個別指導や、教職大学院と連携して大学院レベルの研修を実施するなど、各任命権者において必要な研修が行われています。

また、中堅教諭等資質向上研修を始めとして、各自治体が実施する研修も受講することとなります。

国際バカロレア教育推進への特別免許状の活用 ～北海道教育委員会・札幌市教育委員会の取組事例～

国際バカロレア教育推進のためのグローバル人材育成推進員として採用を受け、平成27年10月より勤務予定校にて教科及び日本の学校に関する研修を実施し、その結果をふまえて、学校長が教育職員検定への推薦を行い、特別免許状の授与を受け平成28年4月より期限付常勤講師として勤務されている、2名の教員を紹介いたします。

市立札幌開成中等教育学校

ディクセツト・ラケツシ 氏

●教科:外国語(英語)

●校務分掌:IB研究部の国際交流チーム

●担当授業:英語(2年)

実践英語B(開成高校3年)、総合コミュニケーションⅢ(開成高校3年)

その他、SGH(スーパーグローバルハイスクール)の課題探究論文の指導(4年、開成高校3年)を担当

イギリスの高校での日本語教師、日本の英会話学校講師、札幌開成高等学校での特別非常勤講師などを経て、現職で勤務されています。現職では、国際交流事業の推進における指導的役割として活躍されています。



Q 教員として勤務してみているいかがでしょうか。採用前(特別非常勤講師)と変化したところがあれば教えてください。

特別非常勤講師として勤務していた時は、生徒が卒業の際に「英語が好きになった」と言ってくれたことがうれしく、やりがいを感じていました。

今回、教員として勤務することで、単に授業を教えるだけではない、教員の幅広い業務内容や負担の大きさを実感するとともに、多様な業務をこなすための計画性や企画力の大切さを実感しました。



中学校でのALT、オーストラリアの州政府財務省での保険数理業務などを経て、現職で勤務されています。現職では、英語・日本語・中国語が理解できる能力を生かし、グローバル教育の推進において活躍されています。

市立札幌開成中等教育学校

チャン・オーイー・クロードット 氏

●教科:数学

●校務分掌:IB研究部の国際交流チーム

●担当授業:数学(1年、2年)、理数探究スキル(2年)

その他、SSH、SGHの課題探究論文の指導(4年)を担当

Q 前職の経験が生きていると思ったところがあれば教えてください。

保険数理業務を通して、統計が実社会の中でどのように活用されているのかを知ることができました。この経験が、数学の授業と実社会のつながりを生徒に教えていくうえで、非常に役に立っていると感じています。

Q 今後、特別免許状の授与を受けて教員を目指す人へメッセージをお願いします。

免許状授与までの手続きは大変な部分もありますが、TTで授業を行っていた時よりも授業に対する自由度も増し、大きなやりがいを感じることもできます。生徒とのつながりもより強く実感できるので、是非チャレンジしてほしいと思います。



生徒の声

(市立札幌開成中等教育学校
2年生)



—先生についての印象的なエピソードがあれば教えてください。

- ・数学の証明問題を英語で解いていたのが印象的。
- ・細かなところまで、丁寧に確認しながら授業を進めてくれる。
- ・理数探究スキルの時間によく助けてくれる。
- ・すごく優しいので話しやすい。
- ・月に1回程度、職員室前に英語でのクイズが出されている。それにより、日本の常識ではなかった新たな発想が生まれている気がする。

勤務校の声

(市立札幌開成中等教育学校 校長 相沢 克明 氏)



—貴校における教育の特徴を教えてください。

本校は札幌市内初の公立中等教育学校として、平成27年度に開校しました。6年間、全教科において「課題探究的な学習」を展開することを最大の特徴としており、そのための方策として、国際バカロレア(IB)のMYP(ミドルイヤーズプログラム)と日本語DP(ディプロマプログラム)の活用を目指しています。

—ネイティブ教員を、特別免許状を授与し採用することによって、変化したところがあれば教えてください。

校内に一定数のネイティブ教員が在籍することで、多文化共生のグローバルな社会が当たり前のような雰囲気ができつつあります。相互のコミュニケーションにおいては、英語や日本語、ボディランゲージを使いながら、分かり合おうとする動きが生まれています。その意味では、仮に、日本語コミュニケーション能力が乏しかったとしても、このこと自体が必ずしもマイナス要因ではないと思っています。

採用機関の声

(札幌市教育委員会 学校教育部教育課程担当課 指導主事 広川 雅之 氏)



—今回の取組により、現場において変化したことがあれば教えてください。

国際バカロレアの活用を目指す学校に求められる、多様な文化や価値観を尊重しながら学び合える学校の雰囲気が醸成されつつあると感じています。

—今後、特別免許状に期待する役割などがあれば教えてください。

海外の学校で長く学んだ日本人など、外国人数員と同等の経歴を有しており教員免許状を持たない日本人に対しても門戸を広げることがよいと感じています。

スペシャリスト特別選考による人材の活用 ～京都府教育委員会の取組事例～

平成20年度京都府公立学校教員採用試験スペシャリスト特別選考に合格することにより、任命権者が教育職員検定への推薦を行い、特別免許状の授与を受け、平成20年4月より京都府で勤務されている教員を紹介いたします。

京都府立北稜高等学校 スペシャリスト教員

ミューリ・ニコラス 氏

- 教科: 外国語(英語)
 - 校務分掌: 第3学年担任(副部長)、ICT主任
 - 担当教科: 外国語(英語)、ActiveEnglish(学校設定科目)
- その他、京都府立高等学校英語教育研究会の委員としてスピーチコンテストの審査員も務められています。

JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)による高等学校でのAET、英語講師などを経て現職で勤務されています。現職では、最初の2年間は教育推進部にて国際交流に関しての生徒の指導、マレーシア研修旅行についての事前学習指導などを担当。その後7年間に渡り学級担任として英語コースなどの担任業務を担当されています。



Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

AETの時、周りの先生方の活躍を見て、自分もいつか日本で「本当の教員」になりたいと思っていました。特に、担任の先生が、生徒の学力や進路指導だけでなく色々な側面から「人を育てる」ということに憧れました。当時、普通の公立学校で外国人が担任になるのはあり得ないと言われていましたが、JETプログラムの終了後にも、英語に携わる仕事をしながらその夢をずっと持ち続けていました。この制度(スペシャリスト特別選考制度)を知り、「これがチャンスだ!」と思い、出願しました。

➡ AETとの授業



スペシャリスト特別選考とは?

各分野における高い専門性や幅広い知識のある方を対象に、教員免許状を有しない人でも受験を可能としています。なお、募集を行う校種・教科により、受験資格が異なります。

勤務校の声

(府立北稜高等学校 副校長 大石 敦子 氏)

—ネイティブの方が勤務するにあたって、勤務前のイメージと変化したところがあれば教えてください。

個々の人柄にもよるのだろうが、本校の配属者は日本語はもちろん日本的なものの考え方への理解も深く、スペシャリストとしての自分の果たすべき役割を自分でしっかり認識できている状態でした。また、仕事に対しての取組の姿勢が意欲的で、一般の教員が彼に触発されることも多かったです。



採用機関の声

(京都府教育委員会 学校教育課副課長 藤島 幹也 氏)

—特別免許状の授与にあたっての特徴や力を入れているところがあれば教えてください。

京都府特別免許状授与検定協議会に意見を聴く前段階で、一定の要件を備えているかどうかの判断を行っています。

—スペシャリスト特別選考制度を活用して特別免許状の授与及び採用を行ったことにより、変化したことなどがあれば教えてください。

特別免許状を授与された教員が採用された学校においては、他の教員の刺激となり学校が活性化しているのではないかと思います。



生徒の声

(府立北稜高等学校 3年生)

—先生についての印象的なエピソードがあれば教えてください。

卒業まであと何か月という話をしていた時に、先生が泣いたのを見て、1~3年間担任でよかったと思いました。いつも生徒に対して言葉を選んで使ってくれる優しい先生です。



京都産業大学留学生との交流風景

Q 実際に教員として勤務してみているいかがでしょうか。また、採用前までのイメージと変化したところがあればあわせて教えてください。

当然ですが、担任として人間関係を築くことや、クラスの団結力を高めることなどは簡単ではありません。はじめて担任になった時は、「自分の思いが生徒に通じた」という感触が1回あっても、うまく伝わっていないことは10回あったという気がします。もちろん文化や言葉の壁もありましたが、担任の仕事そのものが、思っていたよりも難しいと感じました。7年間担任をして、その1対10の割合は減ったかもしれませんが、やはり生徒や保護者とうまくコミュニケーションをとることは永遠の課題です。

Q 今後、前職の知識や経験を活かして特別免許状の授与をうけ、教員を目指すことを視野に入れている人たちへメッセージやアドバイスなどがあればお願いします。

これからの日本の英語教育には外国人にも勝るほどの「使える」コミュニケーション能力が求められています。そのため、国際社会で活躍している日本人やネイティブスピーカーが絶対必要です。そのようなあなた、ぜひ教員を目指して私と一緒に日本の英語教育を変えましょう!

部活動(バスケットボール部)の顧問も担当されています ➡



オリンピック人材の活用 ～京都市教育委員会の取組事例～

京都市立嵯峨中学校 田本 博子 氏 ●教科:保健体育 ●校務分掌:1年3組担任

日立製作所に入社し、2000年(平成12年)シドニーオリンピックソフトボールの日本代表として、銀メダルを獲得されました。

現役引退後は、全日本のコーチとして2008年(平成20年)の北京オリンピックの金メダル獲得に貢献されています。

その後、教員を目指し、平成23年度京都市教育委員会教員採用試験(保健体育志願者特別選考)に合格することにより任命権者である京都市教育委員会が教育職員検定への推薦を行い、特別免許状の授与を受け、平成23年4月より京都市で勤務されています。



Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

ソフトボールを引退した後に、1年間会社に勤務いたしました。その間に講習会や講演会の機会を与えて頂き、聴きにきてくれた子どもたちが食い入るように私の話しに耳を傾けてくれたことが非常に印象に残りました。また、沢山の人の支えのおかげで自分が生かされていたことも実感しました。

世界で戦った経験をもとに、子どもたちに夢を持つ素晴らしさを伝えていきたいと感じ教員を目指しました。

Q 実際に教員として勤務してみているいかがでしょうか。 また、採用前までのイメージと変化したところがあれば あわせて教えてください。

採用前に「京都教師塾」(将来教員を目指す大学生や社会人を対象とした講座)に通わせて頂きましたが、実際に教員として勤務すると想像していた以上に難しい仕事だと感じました。授業をするまでの準備の大変さ、授業で伝える難しさ、学級経営の仕方、部活指導の取り組み方や行事の取り組みなど、見えなかったことがたいへん多くあり不安になりました。現在でも、多くの先生方の授業や子どもたちへの接し方を拝見し、自分自身の実践に生かすべく取り組んでいます。



Q ソフトボール選手としての経験が生きている、と思ったところがあれば 教えてください。

自分が決めたことは最後まであきらめずにやり通す「精神力」はソフトボールで培ったものだと思います。また「挨拶」や「はい、喜んでの精神」「自ら仕事を探すこと」など、社会人として学んだ基本的なことは現在の仕事でも生きていると思います。

Q 今後、前職の知識や経験を活かして特別免許状の授与をうけ、教員として勤務を目指すことを 視野に入れている人たちへメッセージやアドバイスなどがあればお願いします。

私は、競技をしている時に何度も挫折を経験しました。その経験が、実は尊い経験だったのだと子どもたちに語っているなかで感じました。今では、さまざまな経験を、目の前の子どもたちに伝える使命があると考えて教壇に立っています。また、子どもたちに本気で接すると思いは必ず伝わると思っています。

さまざまな知識を持っておられる方や経験をされた方にも、未来を担う子どもたちに自分の経験を伝える場があることを知っていただき、お互いに頑張っていけたらと思っています。



CHECK!

京都市教育委員会における特別免許状の制度を活用した教員採用試験での特例について

京都市教育委員会における教員採用試験においては、一般選考における数学・理科などの教科とともに、特別選考では保健体育も加え、当該校種及び教科の普通免許状を有しない方や取得見込みのない方も受験を可能とする制度※を設けています。

合格者については、京都府教育委員会に推薦し、京都府が実施する教育職員検定に合格して特別免許状が授与された場合は、教諭等として正式採用しています。

※平成28年度(平成29年度採用選考試験)現在。

埼玉県での特別免許状の活用事例

開智小学校(開智学園総合部) 本間 靖佳 氏

- 学級主任担任(小5～中2の異学年混成学級)、中2学年副主任 など
- 担当教科:小5算数・中1/中2数学

Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

「未来があるから」の一言に尽きます。懸命に努力する子、目的を見つけたくてもがいているような子の力になればと思いました。

Q 実際に教員として勤務してみたいかがでしょうか。

また、採用前までのイメージと変化したところがあればあわせて教えてください。

(楽しいこと、大変なことも含めて)日々格闘という言葉がピッタリだと思います。と、同時に上司や同僚には、想像していた以上に助けられていると思います。

Q 今後、前職の知識や経験を活かして特別免許状の授与をうけ、教員として勤務を目指すことを視野に入れている人たちへメッセージやアドバイスなどがあればお願いします。

飛び込むには勇気がいると思いますが、他の人になに何か、あるいは教職への意欲は誰にも負けないなどのモノを持って、ぜひ仲間になりましょう。

生徒(現在は高校1年生)に伺いました

Q 先生との関わりについて教えてください。

小学校5年生から中学2年までの算数・数学の先生でした。

Q 印象的なエピソードなどがあれば教えてください。

校舎が違うのに、いつ質問に行っても、私が納得できるまで丁寧に教えてくれます。春休みや夏休みといった長期休みのときも、学校に行ったら教えてくれたのが印象的です。

進路を決めるときも、自分の数学の力に不安があったので、理系に進むことをためらっていたのですが、先生のおかげで、高校の難しい数学を習い始めても、つまづくことなく学習することができました。

今の私が数学を好きになり、数学への自信がつき、理系でがんばることを決めることができたのは、本間先生のおかげと言っても過言ではないです。



学級担任として各種年中行事の指導も担当されています

教頭先生に伺いました

開智小学校 教頭 田口 貴朗 氏

Q 貴校での教育の特徴やアピールポイントなどがあれば教えてください。

- ①異学年齢混成学級
- ②4-4-4年生の12年一貫教育
- ③探究型授業・アクティブラーニングを中核として、子どもたち自らが目的を持って学ぶ力を培うことに主眼を置いた教育活動 など

Q 特別免許状を授与された方を採用するにあたって、期待したところがあれば教えてください。

- ①常識や枠にとらわれない教育活動の実践
- ②広い視野、知識・見識に立った教育活動の実践
- ③豊かな人間性、社会経験に基づくリーダーシップ

Q 実際に教育現場で勤務される中においていかがでしょうか。

十二分に期待に応えてくれていると感じている。

Q 今後、特別免許状(及び、特別免許状を授与された教員)に期待する役割などがあれば教えてください。

特別免許状を授与された教員が、一般的な教職課程を履修してきた教員と比較して、何かに劣る・不安を感じるということは一切なく、むしろあらゆる意味で、他に良き影響を与える存在となっている。しかしながら、特別免許状を得るためのハードルが高く、なかなか制度が活かされていないと感じるので、もっと活用しやすい環境の整備をお願いしたい。

予備校の講師や児童養護施設の職員などを経て、平成17年度より特別免許状の授与を受けて勤務されています。小学校(算数)のほか、中学校(数学)、高等学校(数学)の特別免許状を有しておられます。

東京都での特別免許状の活用事例

玉川学園国際バカロレアクラス ユーリカー・ウィリアム・ジョセフ・ジュニア 氏

- IBプログラム・ディレクター
- 担当教科:MYP社会科(中学校1年～高校1年)DP経済(高校2年～3年)

Q 特別免許状を取得しようと思った理由や経緯について教えてください。

私は、来日後、公立中学校のアシスタント教員を経て、国内のインターナショナル校に奉職していたが、日本の学校で教鞭を取ることが来日の目的であったため、日本の学校への奉職を希望し、一条校であり、且つ、国際バカロレア教育を展開している玉川学園に応募し、採用に至った。

採用後は国際バカロレアクラス社会科担当として教壇に立つことになったが、ここでの授業を担当し気が付いたことは、前職の国内インターナショナルスクールで担当していた領域と異なるという点であった。前職の国内インターナショナルスクールでは小学校の副校長を務め、PYP(プライマリーイヤーズプログラム)の導入を指揮した経験から、玉川学園のIBクラスに転職した訳であるが、日本の学校教育法下で、日本の教員免許状を持たないことによる制約を認識するに至った。それが、日本の学校で教職に就くための課題であるという考えに至った次第であるが、具体的な問題点としては以下の通りであった。

現在はIBプログラム・ディレクターとしてIBプログラム全般の管理を担っているが、以前は日本の教員免許状がないために特別非常勤講師の立場で教科の領域の一部だけを担当していた。

このため、年間教育計画や評価全体は日本人教員に委ねざるを得なかったが、日本人教員がIB教科領域の全般を把握するには限界があるため、詳細を説明した上で、日本人教員と協働してこの任に当たらなければならないという問題があった。

この問題を解消し、より効果的な教育成果を上げるために、自分の持つ経験とキャリアをより活かしたいと考え、特別免許状を申請、学習指導要領とIBカリキュラムの中間に位置する一条校としての国際バカロレア教育の発展に貢献したいと考えるに至った。

IBクラス在学中に教科指導を受けた卒業生に伺いました

Q 先生に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。また、他の先生とはここが違う、と感じたことなどがあれば教えてください。

海外生活の経験はありましたが、授業という関わりを通じて外国の人と接することは初めてだったので、授業やIBでの生活、先生との交流を通じて、決して否定的な言い方ではなく、考え方、価値観の隔たりというものを認識しました。大げさな言い方となりますが、世界の中に位置する日本というものを改めて考える貴重な経験となりました。

Q 印象的なエピソードなどがあれば教えてください。

幼少期の一時期、海外生活を経験しましたが、小学校までは日本の学校、授業スタイルでの勉強だったので、その日本の勉強の姿勢が身についていた私がIBクラスに入って、まず戸惑ったことは、授業中の先生の質問が、教科書にある内容を問うものではなく、それらを基にした「自分の考え」を問われたことでした。

今思えば、「私は、教科書に書かれたことを聞きたいのではなく、君の考えを聞きたいのだ」という先生の一言が、私自身のIBでの勉強の出発点であったと感じています。



出身国(米国)の大学講師(政治学)や高校教員、日本での外国語指導助手やインターナショナルスクールの副校長・社会科教員を経て、平成27年度より特別免許状の授与を受けて現職で勤務されています。

京都市での特別免許状の活用事例

京都市立堀川高等学校 井尻 達也 氏

東京大学大学院(工学系研究科航空宇宙工学専攻修士課程)を修了後、宇宙航空研究開発機構(JAXA)に就職。日本初の有人宇宙施設「きぼう」の開発に従事し、「きぼう」の打ち上げに貢献されました。その後、京都市教育委員会の採用試験(特別選考)に合格することにより、任命権者である京都市教育委員会が教育職員検定への推薦を行い、特別免許状の授与を受け、平成21年度より京都市立堀川高等学校にて勤務されています。

現在は、研究部長として生徒の主体性を育成する取り組みや、探究活動の指導法などに関する研究を実施するとともに、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)等の指定を受けている堀川高等学校の教育内容の企画推進・調整に従事されています。

●担当教科:数学

Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

具体的なきっかけを説明するのは難しいですが、自分のこれまでの経験を次世代に伝え、より良い社会を築いていかなければならないという使命感を抱きました。自分の子どもが生まれたこともきっかけとなりました。

Q 実際に教員として勤務してみているかがでしょうか。

また、採用前までのイメージと変化したところがあればあわせて教えてください。

前職ではエンジニアとして開発業務に携わっていましたが、教育現場では人を対象とするところに難しさを感じています。授業をする以外にも多くの仕事があり、優先順位をつけて仕事をする大切さを痛感しています。

Q JAXAでの経験が生きていると思ったところがあれば教えてください。

前職で開発業務に携わる中で数学を使うことがあり、数学の授業の中で、数学と科学技術とのつながりや、実際に数学が活用されている事例を説明することで、数学に対する関心を高められる授業を模索しています。

Q 今後、前職の知識や経験を活かして特別免許状の授与をうけ、教員として勤務を目指すことを視野に入れている人たちへメッセージやアドバイスなどがあればお願いします。

教育現場では自分の経験が活かせる場面が多くあります。どのように活かしていくのかは、人それぞれですが、今向き合っておられる仕事に対する思いや誇りは、生徒たちに会ったときに必ず何かが伝わると 생각합니다。



和歌山県での特別免許状の活用事例

和歌山県立海南高等学校 大畠 麻里 氏

奈良女子大学大学院人間文化研究科共生自然科学専攻修了(学位取得:平成20年3月 博士[理学])

●第2学年副担任 ●担当教科:理科(生物基礎、化学基礎、課題研究など)

Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

学位取得後は、学芸員となることを目指して主に博物館などで活動してきました。それらの施設では、自身の専門が行動生態学であるため、生物が示す行動の面白さを伝えたいという思いをもって勤務してきました。

そんな中、和歌山県で博士号取得者を対象とした特別選考が実施されることを知り、教員という立場でも「科学の面白さ」や「生物の魅力」を伝えることができるのではないか、という考えに至ったので、チャレンジすることを決めました。

Q 実際に教員として勤務してみているかがでしょうか。また、採用前までのイメージと変化したところがあればあわせて教えてください。

当初は全く初めての世界ということで戸惑う部分もありましたが、周りの先生方に助けられ、なんとか無事に1年を終えようとしています。勤務前に想像していたよりも生徒と関わる時間がずっと多く、それは生徒に大きな影響を与えているということでもあるので、責任の大きさとともにやりがいも感じています。

Q 「前職の経験が生きている」と思ったところがあれば教えてください。

勤めていた博物館という施設は、子どもから大人まで、年齢も性別も職業もさまざまな人々が訪れる場所であるので、ここで来館者と関わった経験は、生徒とコミュニケーションをとる上でも役立っているのではないかと思います。

また、第2学年教養理学科および第2学年普通科理系クラス対象の課題研究では、研究テーマの設定から研究の進め方、結果の解析方法、研究内容のまとめ方、発表の方法等を指導する上で、自身のこれまでの研究生活で培った知識・経験がそのまま活かせていると感じています。

Q 今後、前職の知識や経験を活かして特別免許状の授与をうけ、教員として勤務を目指すことを視野に入れている人たちへメッセージやアドバイスなどがあればお願いします。

高度な専門性をもつ方が教育現場に入ることには、「こんな分野、こんな世界もあるんだ」と生徒に刺激を与え、さらには生徒の目標にもなると思います。私は、以前は海産無脊椎動物の研究を専門としていたので、今後の教員生活においても「一研究者である」という自覚を忘れることなく、さらに専門性を高めるために研究を続けていきたいと思っています。

他の誰にもない専門性や個性をもった素敵な教員が学校現場で数多く活躍できることを祈っています。

SSH(生物)教科担任として授業を受けた生徒に伺いました

Q 印象的なエピソードなどがあれば教えてください。

生物の実験の授業において、干潟にすむカニ類のハサミ振り行動の研究についての話を聞きました。研究内容について熱心に話されるので、先生が研究対象であるカニのことをすごく好きだということ、研究に取り組む情熱が伝わってきました。



ポスドク(博士研究員)、学芸員を経て、平成28年度採用より実施された特別選考(博士号所有者は教員免許状がなくても受験可能)に合格することにより、特別免許状を授与され平成28年4月より勤務されています。

三重県での特別免許状の活用事例

三重県立相可高等学校 村林 新吾 氏

●食物調理科専任教諭 ●担当教科:家庭 ●担当分掌:総務

Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

経験を生かし、高校生にプロの技術を教える教員を目指した。

Q 実際に教員として勤務してみたいか教えてください。

また、採用前までのイメージと変化したところがあれば教えてください。

専門学校の教員であったため特にイメージは変わらないが、その頃より生徒との距離が近づいた。

Q 今後、前職の知識や経験を活かして特別免許状の授与を受け、教員として勤務を目指すことを視野に入れている人たちにメッセージやアドバイスなどがあればお願いします。

前職と同じことをするだけではなく、より一層新しい職場を理解し、そこで自分の力を最大限に生かした教育活動を目指してください。

元生徒(現職:料理教室講師など)に伺いました

キッチンコンサルタント 南 晶子 氏

Q 先生に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。

また、他の先生とはここが違う、と感じたことなどがあれば教えてください。

料理に関してはとても厳しい先生でしたが、いつでも全力で親身になって向き合ってくれました。今でもたくさんの卒業生が先生を訪ねたり、電話で連絡を取ったりしていることが何よりの証です。

Q 授業中において印象に残った言葉などがあれば教えてください。

「何か失敗したときは、まずは自分の行動を疑え。」
失敗を周りの人のせいにならず、自分の行動を振り返ることの大切さを教わりました。仕事をしていく中で、この言葉を今でも心に留めています。

採用機関(教育委員会)担当者に伺いました

三重県教育委員会事務局教職員課制度・採用・免許班主査 辻 孝明 氏

Q 特別免許状の授与及び採用をしたことにより、変化したことなどがあれば教えてください。

専門学科教育の深化により各種コンテスト、コンクール等への出場、入賞の機会が増えたとともに、キャリア教育の充実にも大きな影響を与えた。また、これらの活動を通じて地域との連携が強まり、地域貢献において果たした役割は大きい。



調理師資格を有し、かつ10年以上の調理専門学校や調理技術研究所での実務経験を有しているなどにより、特別免許状の授与を受けて平成6年4月より現職で勤務されています。



食物調理科では「ミラノ万博」、アメリカで開催の「食の国際会議」、「伊勢志摩サミット」など、日本の食文化を世界に発信されています。(写真は伊勢志摩サミットでの様子)

勤務先の校長先生に伺いました

三重県立相可高等学校 校長 藤田 曜久 氏

Q 貴校における教育の特徴やアピールポイントなどがあれば教えてください。

本校は普通科、生産経済科、環境創造科、食物調理科の4学科を持つ総合高校で、各学科が学科の特色や強みを生かした教育を実施し成果をあげています。また、地域との密接な連携による本校ならではの特色ある教育も特徴の一つです。

Q 特別免許状を授与された方が勤務される中で得られた成果などがあれば教えてください。

いわゆる教員ではなく専門的技術を身に付けたプロが高校の教員となるということから専門学科教育の深化を図ることができたという点や、地域との連携が強化され開かれた学校作りや地域から必要とされ信頼される学校作りが進展したという点で考えていた以上の大きなプラスの効果を得られました。

長崎県での特別免許状の活用事例

高等学校(看護)に限定した特別選考試験に合格することにより教育委員会の推薦を得て、特別免許状の授与を受け勤務されており(平成28年度現在で6年目)、現在は衛生看護科主任として活躍されている教員を紹介いたします。

主な業務内容は、①成人看護 ②看護臨地実習 ③基礎看護 ④生活と看護など。看護クラスの学級担任や生徒指導部の業務も担当されています。

Q 教員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。

病院で勤務していた頃に看護学生の指導をする機会がありました。その際、ひたむきに実習に取り組む生徒の様子を見て、自分の知識や技術を少しでも看護学生に還元することができればと思い、看護教員を目指そうと思いました。

Q 実際に教員として勤務してみたいか教えてください。

また、採用前までのイメージと変化したところがあれば教えてください。

実際に学校現場で働かさせていただき、日々成長していく生徒を目の当たりにして驚く事が多々あります。そして、それが教員としての何よりの幸せなのではないかと感じています。採用前とは違い、生徒の成長には、教育現場・地域社会・家庭の連携と協力がなくと身体的・精神的に健康な生徒の育成には繋がらないと感じています。

Q 「前職の経験が生きている」と思ったところがあれば教えてください。

授業の導入の際、臨床の時の患者さんの話をすると生徒は興味を持って聞いてくれるため授業が展開しやすいです。医療現場では常に「チーム医療の中での看護師の役割」を意識して働くよう教育を受けました。そのため学校現場においても「学校組織の中での自分の役割」また「学年における自分の役割」を少なからず意識し勤務にあたる習慣がついているのは、前の経験が生きているからだと思います。

Q 今後、前職の知識や経験を生かして特別免許状の授与を受け、教員として勤務を目指すことを視野に入れている人たちにメッセージやアドバイスがあればお願いします。

1人の生徒の人生に大きな影響を与えたり、夢に向かって頑張る生徒に関わることができたりする教員という職業は本当に素晴らしい職業だと思います。私はそのような職業に縁あって就くことができたことに心から感謝しています。

採用機関(教育委員会)担当者に伺いました

長崎県教育委員会 主事 三谷 佑亮 氏

Q 特別免許状の授与及び採用をしたことにより、変化したことなどがあれば教えてください。

長崎県は看護の教員免許状所持者が少なく、離島部での教員の確保ができな状態にあったが、特別選考試験における特別免許状の授与により、その問題が解決された。また、離島地区の生徒たちも、特別免許状授与者から現場で経験した専門的な知識や技術を学ぶことができ、就職等に大きく貢献していると考えられる。



神奈川県での特別免許状の活用事例

神奈川県では、県立特別支援学校へ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士・看護師などの専門職に特別免許状を授与し、自立活動教諭として採用しています。一般病院の理学療法士として6年間勤務した後、特別支援学校自立活動教諭特別免許状の授与を受け、平成23年度より勤務されている教員を紹介いたします。

【主な業務内容】

①自立活動の指導への助言 ②個別教育計画の作成・評価への参加実施 ③地域の小・中・高校への巡回相談等による教育相談への対応 など

Q 実際に教員として勤務してみている感じがどうか。

初めて聞く疾患を持った児童生徒に出会うこともあり、“在籍する児童生徒の障害の重度・重複化、多様化”という言葉をもっと肌で感じた。それに応じて、個々の教育的ニーズも多様であり、また配慮すべきことも一人ひとり違っており、学校のみでなく、その子どもに関わっている病院・療育機関・放課後支援・地域の関係機関との密な連携・協力が必要であると感じた。

その日の体調への対応等（呼吸状態が悪い、緊張が強い、痰が多い等）その場で直面する場面への相談が多く、年度を越えての指導の継続、将来像を見据えての関わりがイメージしていたよりも難しいと感じている。

児童生徒への直接的な関わりだけでなく、教員からの相談や研修会講師など、単にセラピストとしての“PT（理学療法士）”としてだけでなく業務もあり、その中で学校（教育）の文化を感じ取ることもできた。

分教室の生徒に伺いました

Q 先生に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。また、他の先生とはここが違う、と感じたことなどがあれば教えてください。

- ・体の動きについて詳しく教えてくれた。
- ・なぜ、その姿勢が良いかを教えてくれた。
- ・わかりやすい言葉で教えてくれる。
- ・その人に合った用具をすぐに用意してくれる。
- ・すぐに原因を教えてくれた。
- ・細かく体のことを診てくれる。

勤務先の教頭先生に伺いました

Q 貴校における教育の特徴やアピールポイントなどがあれば教えてください。

- ・肢体不自由教育（小学部～高等部）及び知的障害教育（高等部）
- ・一人ひとりの「生きる力」を広げ、高め、深める教育

Q 今後、特別免許状（及び、特別免許状を授与された教員）に期待する役割などがあれば教えてください。

特別支援学校の児童・生徒の実態から、福祉、医療、労働等多岐にわたる専門家との連携が不可欠であり、今後も児童・生徒の「自立と社会参加」に必要な分野について、特別免許状を授与された専門家を学校に配置し、児童・生徒に対し指導・支援していただきたい。

採用機関（教育委員会）担当者に伺いました

神奈川県教育委員会 教職員人事課担当

Q 特別免許状の授与にあたっての特徴や力を入れているところがあれば教えてください。

専門職（作業療法士・理学療法士・臨床心理士・言語聴覚士）及び看護師に特別免許状を授与する際は、各人の職歴や経験の内容を十分に聞き取るなどして、学校への適応性なども考慮しながら見極めをしている。

Q 特別免許状の授与及び採用をしたことにより、変化したことなどがあれば教えてください。

- ・特別支援学校にはこれまで専門職の配置がなく、教諭が個々に自身の専門分野以外の勉強をして児童・生徒の指導にあたらざるを得なかった。
- ・特別免許状を授与した専門職が学校現場に入ったことにより、個別教育計画の内容や日々の授業のレベルが格段に向上している。
- ・また、保護者面接等に専門職が参加し、より専門的な視点から家庭生活への助言を行うことなどができてきている。

認定NPO法人Teach For Japanによる研修を経た特別免許状取得者の活動事例

Teach For Japan では、独自に選抜・育成をした人材を教育委員会に紹介しています。紹介する人材は、事前に実習と理論の講義やワークショップを合計約250時間受講し、赴任後も定期的に授業観察を通したフィードバックを受け、赴任後集中研修にも参加します。教員免許状を保有していないが優れた知識経験を持つ人材で、県教育委員会の教育職員検定に合格し、特別免許状を授与された教員もいます。青年海外協力隊や海外NGOでの勤務を経て、平成27年度より福岡県飯塚市に英語科の教員として勤務されている方について紹介いたします。

フェロシップ・プログラムの仕組み

自治体連携	選抜・採用	研修	支援	修了生支援
・課題、ニーズの把握 ・教師（フェロー）の配置調整／マッチング	・選抜の実施 ・教師（フェロー）の自治体への紹介	・事前課題／内定者研修 ・赴任前の実践的な合宿型集中研修	・継続的なメンタリング／コーチング ・定期的な集合研修会 ・授業観察／フィードバック ・効果測定	・プログラム修了後の就業支援 ・修了生同士のネットワーク ・ミッション実現の支援

赴任した教員の業務内容：

- ①英語T1指導 ②副担任 ③研究推進部（国際教育・ICT）
- ④教科研修会（英語・アクティブラーニング）
- ⑤校内分掌（道徳担当・生徒会担当・野球部副顧問・飯塚市中学生海外研修事業サニーバール市からの受け入れ担当）など



ICTを活用した授業の様子



九州工業大学留学生との交流



研究授業の様子

教員の声

福岡県飯塚市に赴任した教員

私は海外での活動経験を持っており、これらの経験を通して日本の教育現場に貢献したいという思いを強くしていきました。ただ、学部生に教員免許を取得しておらず、私のように一度社会に出ている人が働きながら教員免許状を取得するためには通信課程もしくは科目等履修生などという形でしか免許状を取得することができません。時間もかかるため、忙しく働いていた自分にとっては非常に困難でした。そんな中、Teach For Japan の活動を知り、福岡県にも特別免許状を授与して頂くことができ、学校現場で立てるようになったことを感謝しております。最初は不安もありましたが、TFJや現場の先生方のサポートもあり、今では自分の経験を生かして様々な取り組みを実践することができています。

採用機関の声

福岡県教育委員会 城戸教育長

福岡県教育委員会では、学校教育において重点的に取り組む施策を示す“福岡県学校教育振興プラン”を策定し、様々な教育施策を展開しています。学校において、子どもの健やかな成長に大きな影響を与える良き教職員の存在は必要不可欠であり、教育現場へ派遣する教員の育成・支援を行っているTeach For Japanの活動に期待しているところです。

勤務校 校長の声

2年間受け持った学年の「英語」の成績は、民間が実施している学力テストにおいて、県内の受験者の平均を大幅に（20ポイント以上）上回り、大変助かりました。また、授業以外にも、部活動をはじめ、土曜日の「英会話教室」等様々な活動を積極的に行っていただき、全体の学校力向上に大いに貢献していただきました。今後のTFJの活躍に期待します。

特別免許状Q&A



現在、英語関係の企業に勤めており、海外勤務経験もあります。将来は学校現場で英語を教えたいのですが特別免許状の制度を使えば可能なのでしょうか？

特別免許状は、任用しようとする教育委員会や学校法人の推薦に基づき実施される教育職員検定において、①担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能②社会的信望と教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有しているかを確認した上で、③あらかじめ学識経験者や学校管理職の意見を聴いた上で、これらに合格した場合に授与されます。

授与までの具体的な手続き方法や審査基準は各都道府県教育委員会がそれぞれ定めていますが、ALTなどで既に学校現場で働いており勤務先の学校から推薦を得る場合や、特別免許状の授与を前提とした、教育委員会や学校法人による一般公募を通して、これに合格することにより推薦を得る場合などがあります。



特別免許状をもって採用された場合、待遇面において普通免許状の人と違いはあるのでしょうか？

採用・任用を行う教育委員会の判断によることとなりますが、一般的には、特別免許状を持つ方は「教諭」として任用されますので、労働条件や待遇において普通免許状を持つ教諭と異なる扱いとなることはありません。



小学校の普通免許状は全教科を教えることができるのに、小学校の特別免許状は1教科しか教えることができないのはどうしてですか？

特別免許状は「教科に関する専門的な知識経験または技能」などをもって授与されるものとなりますので、小学校については全教科ではなく個別の教科について授与されます。内容については免許状の教科に加え、「道徳」「特別活動」や免許状の教科に関連する「総合的な学習の時間」を担当することが可能です。



特別免許状を授与されて教員となったあと、どのような支援を受けられるのでしょうか。

校内研修や大学と連携して行う研修など、教職の基礎や教科指導、教材作成、生徒指導などについて学べるよう、各学校や教育委員会がそれぞれ研修を行っています。また、教科の専門性を更に伸ばす研修を行っている場合もあります。



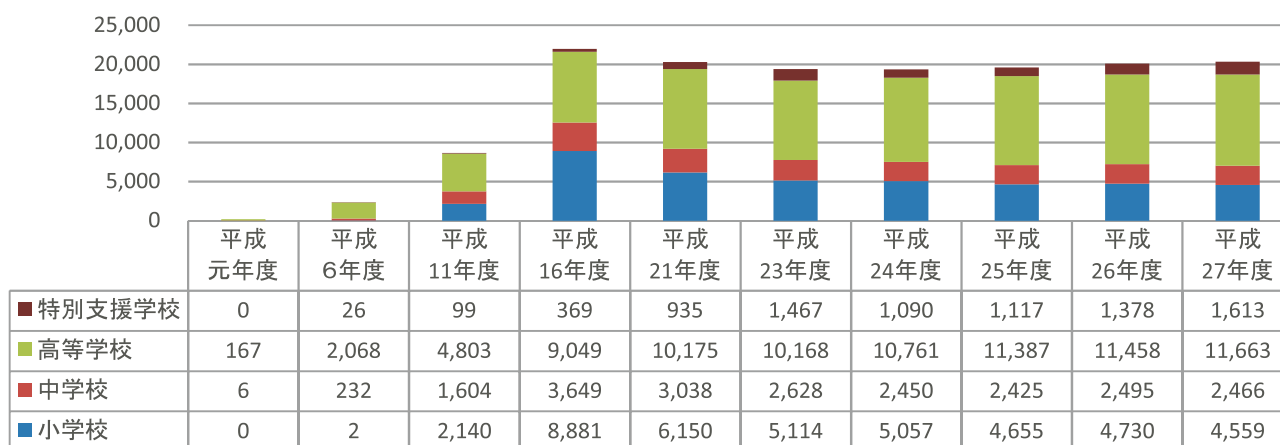
特別非常勤講師とは

特別非常勤講師とは、学校教育の多様化への対応やその活性化を図ることを目的として、教員免許状を有しない地域の人材や多様な専門分野の社会人を教科の領域の一部を担当する非常勤講師として学校に迎え入れるための制度です。（昭和63年に創設）。

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における全教科、道徳、総合的な学習の時間の領域の一部、小学校及び特別支援学校小学部・中学部のクラブ活動を担当することができます。（平成10年に対象教科を拡大）

あらかじめ、任命・雇用しようとする者から授与権者（都道府県教育委員会）への届出が必要となります。

件数の推移



（注1）特別非常勤講師は平成10年7月に許可制から届出制となりました。

（注2）特別支援学校の項目は、平成18年度までは盲・聾・養護学校の合計数を掲載しています。

主な事例

<小学校> 国語：書道 [書道家]，生活：米作り [農家]，音楽：和太鼓 [和太鼓奏者]，家庭：食に関する指導 [学校栄養職員]，クラブ活動：手話 [手話通訳者]，道徳：[スクールカウンセラー]，総合的な学習の時間：パソコン活用 [専門学校講師]，外国語活動：英会話 [英会話教室講師]

<中学校> 音楽：箏曲 [箏曲師範]，保健体育：剣道 [剣道指導者]，美術：絵画 [画家]，技術：木工 [大工]，家庭：食物 [栄養士]，クラブ活動：囲碁・将棋 [地域の人材]，総合的な学習の時間：郷土史 [郷土史家]

<高等学校> 国語：朗読研究 [アナウンサー]，家庭：調理実習 [料理教室講師]，工業：製図 [建築設計士]，商業：会計 [税理士]，総合的な学習の時間：演劇 [演劇関係者]

<特別支援学校> 保健体育：ダンス [ダンス講師]，音楽：器楽 [音楽療法士]，総合的な学習の時間：茶道 [茶道講師]

朗読の専門家による、児童が書いた詩や絵本などの読み聞かせ会（富山県）

富山市立池多小学校 鈴木 優子 氏

定期朗読会やテレビ・ラジオ等のナレーションなどで活動される中、富山県の小学校教員研修会の講師を務めたことがきっかけとなり、現在は富山県の各小学校で特別非常勤講師として、学習教材や文学作品、児童が書いた詩や絵本の朗読会を実施されています。



先生に聞きました

Q 授業で工夫している点を教えてください。

「本は楽しいもの、心に響くもの」として、それが子どもたちに伝わるような作品選びをしている。また、子どもたちが集中でき、飽きることなく聴けるように、聴くことが苦手な子どもも嫌にならないように、作品内容の難易度を考えながら組み立て方を工夫している。また、子どもたちが作った詩を朗読する場を継続的に設けている。詩を通して、自分に自信がもてたり、文章を好きになったりしてほしいと願っている。

教頭先生に聞きました

Q 貴校の教育において得られた効果について教えてください。

どの子どもも、とても落ち着いた温かい気持ちで絵本や物語の世界に浸ることができるようになった。朗読や読書の楽しさを再発見したり、じっくりと味わったりする子どもが増えた。

国内外の豊富な経験を活かした英語授業（静岡県）

御殿場市立高根中学校 千賀 八千代 氏



一般企業を経て海外で英語を学び、帰国後は大学や英会話学校などの講師として勤める中、中学校の英会話の授業担当として依頼を受けたことがきっかけとなり、現在は御殿場市の複数の中学校で特別非常勤講師として活躍されています。

先生に聞きました

Q 授業で工夫している点を教えてください。

発音指導においては、日本語話者であるからこそ認識できる英語と日本語の調音のしぐみの違いを、文化的側面においては、日本人であるからこそ興味をそそられた側面を取り上げています。

自分では「英語を学ぶ生徒であることのプロ」だと思っています。現在も英会話のレッスンに通い、習う側が興味をそそられるアプローチを心がけています。

在校生に聞きました

Q 教科担任の先生と違うと思うところがあれば教えてください。

- ・ジェスチャーが多く英語の発音がとても上手です。共に活動するALTもいつもより楽しそうに見える。
- ・自分にはどの力が足りないのか、どこをもっとやればいいのか、自分の経験を元に詳しく教えてくれるので勉強法がわかります。
- ・ALTの先生が話した事をしっかりと日本語に訳してくれます。
- ・教科書に載っていないような豆知識も教えてくれます。

様々な分野の専門的知識による郷土学習（滋賀県）

長浜市立永原小学校 竹端 康二 氏

コーラスグループの主宰、図書館支援員、公立学校教育事務員、永原小学校学校運営協議会会長などの様々な活動を行っており、平成21年より社会人活用・理科支援員等により採用を受け、生活や社会、理科、音楽、道徳、総合的な学習の時間などにおいて特別非常勤講師として活躍されています。



ICTを用いた授業の実施や、コンピュータ関係の指導も担当されています

先生に聞きました

Q 実際に教員として勤務してみているいかがでしょうか。

自然に囲まれた永原地区であっても、子どもたちは地域の自然との関わりが少なく感じた。

会社時代とは違って、目の前にいる子どもたちの笑顔など、手に取ってみてわかったときの喜びや、発見したときの顔の輝きを見ることができ、やりがいになっている。

全校合唱などで、全校の子どもたちの歌声が体育館に響き、歌うことを好きになってくれてうれしく感じている。

在校生に聞きました

Q 先生についての印象的なエピソードを教えてください。

山門水源の森を歩きながら、何でもないと思っていた雑草が「ササユリ」といって、開花まで7年もかかる貴重な植物だと教えていただいたときには驚きました。アメンボなどの生き物を手で触らせていただきました。

琉球古典音楽（三線）師範による演奏指導を通した郷土音楽学習（沖縄県）

宮城 欣也 氏

平成7年に「野村流保存会三線師範免許」を取得し、郷土芸能についての授業担当として依頼を受けたことがきっかけとなり、平成8年度より高等学校の学校設定科目「郷土の音楽（芸術の教科の一部の領域）」を担当されています。



先生に聞きました

Q 授業に対しての生徒の反応として、印象的なエピソードなどがあれば教えてください。

楽しく三線を奏でている様子。教え子の中には、芸術大学へ進学し、大学教授として活躍している者もいる。(2名)

Q 学校現場と関わりを持つことにより、現職においてよい影響を与えたことがあれば教えてください。

長年、講師を務めたことで教え子の子ども達が興味を持って、郷土芸能を習いに来ってくれる。

在校生に聞きました

Q 先生の印象的なエピソードなどがあれば教えてください。

練習の成果を家族に披露することもあった。欣也先生は、高校生活の中で印象深い先生で、演奏に夢中になり、歌を忘れてしまうとアビレー（声を出せ）とよく言われたが、その言い方が面白かった。

特別免許状に関する詳細な情報については、文部科学省ホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/1326555.htm

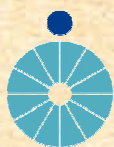
特別免許状制度の概要や、特別免許状の授与に係る教育職員検定等に関する指針」の全文を掲載しています。

その他、教員免許状に関する情報については文部科学省ホームページをご覧ください。

文部科学省トップページ>教育>教員の免許、採用、人事、研修等

http://www.mext.go.jp/a_menu/01_h.htm

※本事例集に掲載されている制度の説明等については、平成29年4月現在の法令等に基づいております。本制度の活用に当たっては、必ず最新の制度をご確認ください。



文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

初等中等教育局教職員課教員免許企画室 免許係

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL:03-5253-4111(代表) 内線2453

(2017.03発行)